

講義概要

SYLLABUS

令和5年度

3年後期

理学療法学科

神戸リハビリテーション衛生専門学校

KOBE COLLEGE OF REHABILITATION AND HEALTH

| | | | |
|-------------|---|---|------|
| 講義名 | 理学療法研究法 | | |
| 講師 | 高橋 優基 | 病院で理学療法士として約13年の勤務経験がある。その経験を活かして、理学療法研究法を講義する。 | |
| | 前田 剛伸 | 病院で理学療法士として約11年の勤務経験がある。その経験を活かして、理学療法研究法を講義する。 | |
| 学年・期 | 3年後期、2単位、30時間（講義） | | |
| 講義目標 | 理学療法学における研究の基本的な考え方を学ぶ。研究を計画・実践する際の方法論について学ぶ。 | | |
| 授業計画 | 第1回 | 理学療法研究の意義・目的 | （高橋） |
| | 第2回 | 研究のタイプ | （高橋） |
| | 第3回 | 測定尺度 | （高橋） |
| | 第4回 | 母集団とサンプリング | （前田） |
| | 第5回 | 仮説検定の考え方 | （前田） |
| | 第6回 | 統計の基礎 | （前田） |
| | 第7回 | 代表的な統計学的手法 | （前田） |
| | 第8回 | 統計学的手法の選択 | （前田） |
| | 第9回 | データの処理 | （高橋） |
| | 第10回 | グラフの読み取り | （高橋） |
| | 第11回 | 四分表 | （高橋） |
| | 第12回 | 質問紙調査法・アンケート用紙の作成方法 | （高橋） |
| | 第13回 | 文献検索 | （高橋） |
| | 第14回 | 先行研究の批判的吟味 | （高橋） |
| | 第15回 | まとめ、国試対策および解説 | （高橋） |
| 履修上の注意 | | | |
| 成績評価 | 期末試験により判断する。単位認定者：高橋 | | |
| テキスト | | | |
| 参考図書 その他 | 配布資料 | | |

| | | |
|-------------|---|---|
| 講義名 | 理学療法管理学 | |
| 講師 | 安井 翔一 | 病院で理学療法士として約13年の勤務経験があり、また管理職としてリハビリテーション科の運営に関わっている。その経験を活かして理学療法管理学を講義する。 |
| | 嘉戸 直樹 | 病院で理学療法士として約25年の勤務経験があり、また管理職としてリハビリテーション科の運営に関わっている。その経験を活かして理学療法管理学を講義する。 |
| 学年・期 | 3年後期.2単位.30時間（講義） | |
| 講義目標 | 理学療法の職場管理において求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について学び、理解する。また権利擁護や職業倫理について学び、患者やその家族、職場内において、社会人として適切な対応がおこなえることを目的とする。 | |
| 授業計画 | 第1回 | 理学療法管理（総論、医療法における医療と医療圏・医療機関） |
| | 第2回 | 理学療法管理（病院内の組織、チーム医療、社会保障のしくみ） |
| | 第3回 | 理学療法管理（医療保険・介護保険制度の体系とその概要） |
| | 第4回 | 理学療法管理（診療報酬・介護報酬と収益構造） |
| | 第5回 | 理学療法管理（保険・医療・介護・福祉の連携） |
| | 第6回 | 理学療法管理（理学療法業務と労務管理、情報管理） |
| | 第7回 | 理学療法管理（リスク管理、感染症管理） |
| | 第8回 | 理学療法倫理（職業倫理①） |
| | 第9回 | 理学療法倫理（職業倫理②、権利擁護） |
| | 第10回 | 理学療法教育（教育の本質、臨床実習と臨床教育、生涯学習） |
| | 第11回 | 理学療法教育（BSCによる目標管理） |
| | 第12回 | 理学療法教育（SWOT分析） |
| | 第13回 | 理学療法教育（PDCAサイクル） |
| | 第14回 | 理学療法教育（EBM） |
| | 第15回 | 理学療法教育（情報提供） |
| 履修上の注意 | | |
| 成績評価 | 期末試験により判断する。単位認定者：安井 | |
| テキスト | 「15レクチャーシリーズ 理学療法学テキスト 理学療法管理学」（中山書店） | |
| 参考図書 その他 | 「リハビリテーション管理学」（医学書院） | |